

## NSF の試験認定結果

## 89 項目の除去認定

健康に有害な因子 (NSF 規格 No. 53)

No.	試験認定項目	除去率	健康障害	備考
1	アラクロール【草】	>98%	ガン、神経障害	環境ホ
2	アスベスト	>99%	肺ガン	無機
3	アトラジン【草】	>97%	ガン、神経・乳腺障害	環境ホ 広ダ
4	ベンゼン【虫】	>99%	ガン、白血病・貧血症	
5	プロモジクロロメタン	>99.7%	ガン、神経・筋肉障害	総トリ
6	プロモフォルム	>99.7%	ガン、神経・筋肉障害	総トリ
7	カーボフラン	>99%	神経・腎臓・肝臓・生殖障害・貧血症	広ダ
8	カーボンテトラクロライド	98%	ガン	
9	クロルデン【虫】	>99.8%	神経・筋肉障害、ガン	環境ホ 広ダ
10	クロロベンゼン	>99%	神経・腎臓・肝臓障害	広ダ
11	クロロピクリン【虫】	99%	神経障害	
12	クロロフォルム	>99.7%	ガン、神経・筋肉障害	総トリ
13	クリプトスポリジウム【生】	99.9%	下痢、発熱、胃腸病	
14	シスト【生】	99.9%	下痢、発熱、胃腸病	
15	2,4-D【草】	98%	肝臓・腎臓障害	環境ホ 広ダ
16	DBCP (ジプロモクロプロパン)	>99%	生殖機能障害、ガン	環境ホ
17	1,1-DCA (1,1-ジクロロエタン)	>99.1%	肝臓・腎臓・神経障害	広ダ
18	1,2-DCA (1,2-ジクロロエタン)	95%	ガン	広ダ
19	1,1-DCE (1,1-ジクロロエチレン)	>99%	ガン、腎臓・肝臓障害	広ダ
20	ジプロモクロロメタン	>99.7%	ガン、神経・筋肉障害	総トリ
21	ジプロモクロプロパン	>99%	生殖機能障害、ガン	環境ホ
22	1,2-ジクロロベンゼン	>99%	ガン・肝臓・腎臓・肺障害	広ダ
23	o-ジクロロベンゼン	>99%	ガン、腎臓・肝臓・肺障害	広ダ
24	p-ジクロロベンゼン	>98%	ガン	広ダ
25	Para-ジクロロベンゼン	>98%	ガン	広ダ
26	1,1-ジクロロエタン	>99.1%	肝臓・腎臓・神経障害	広ダ
27	1,2-ジクロロエタン	95%	ガン	広ダ
28	Trans-1,2-ジクロロエチレン	>99%	肝臓・腎臓・神経・代謝障害	広ダ
29	1,1-ジクロロエチレン	>99%	ガン、肝臓・腎臓障害	広ダ
30	Cis-1,2-ジクロロエチレン	>99%	肝臓・腎臓・神経・代謝障害	広ダ
31	1,2-ジクロロプロパン	>99%	神経・肝臓・腎臓障害	広ダ
32	Cis-1,3-ジクロロプロピレン【虫】	>99%	膀胱・腎臓障害	広ダ
33	ジノセブ【草】	99%	甲状腺・生殖器官障害	
34	EDB	>99%	生殖・その他の器官障害	広ダ
35	エンドリン【虫】	99%	神経・腎臓・肝臓・心臓障害、貧血症、ガン	広ダ
36	エンタモエバ【生】	99.9%	下痢、発熱、胃腸病	
37	エチルベンゼン【虫】	>99%	神経・肝臓・腎臓障害	
38	エチレンジプロマイド	>99%	生殖・その他の器官障害	広ダ
39	フラダン	>99%	神経・腎臓・肝臓・生殖障害	広ダ
40	ジャディアランブリア (シスト及びプロトゾアン)【生】	>99.9%	下痢、発熱、胃腸病	
41	プロモクロアセトニトリル	99%	ガン	
42	ジプロモクロアセトニトリル	98%	ガン	
43	ジクロロアセトニトリル	98%	ガン	
44	トリクロアセトニトリル	98%	ガン	
45	1,1-ジクロロ-2-プロパノン	99%	ガン	
46	1,1,1-トリクロロ-2-プロパノン	96%	ガン	
47	ヘプタクロール【虫】	>99%	ガン	

※太字：新たに追加認定された項目

No.	試験認定項目	除去率	健康障害	備考
48	ヘプタクロールエポキシサイド【虫】	98%	ガン	
49	ヘキサクロロブタジエン	>98%	※研究途上	
50	ヘキサクロロシクロペンタジエン	>99%	腎臓・胃障害	
51	鉛 (p H6,5)	>98.3%	神経・腎臓障害	重金 幼児、妊婦に猛毒
52	鉛 (p H8,5)	>98%		
53	リンデン【虫】	>99%	神経・肝臓・腎臓障害	
54	水銀 (p H6,5)	>91.4%	腎臓・神経不全	重金
55	水銀 (p H8,5)	>99.3%		
56	メトキシクロール【虫】	>99%	ガン・神経・腎臓・肝臓障害・貧血症	
57	メチルベンゼン	>99%	神経・腎臓・肝臓障害	
58	モノクロロベンゼン	>99%	神経・腎臓・肝臓障害	広ダ
59	MTBE	>96.6%	肝臓・腎臓・肺・神経・粘膜障害	
60	PCB類	>99%	内分泌攪乱、ガン	環境ホ 広ダ
61	PCE	>99%	神経障害、ガン	
62	ペンタクロロフェノール【草】	>99%	肝臓・腎臓障害、ガン	広ダ
63	パークロロブタジエン	>98%	※研究途上	
64	フェニールエタン	>99%	神経・肝臓・腎臓障害	広ダ
65	プロピレンジクロライド	>99%	肝臓・腎臓・神経・代謝障害	広ダ
66	シマジン【草】	>97%	神経障害・ガン	環境ホ
67	シルベックス【草】	99%	神経・肝臓・腎臓障害、ガン	
68	スチレン	>99%	神経・腎臓・肝臓障害	環境ホ
69	1,1,1-TCA	95%	神経・肝臓障害	
70	TCE	>99%	ガン	
71	1,1,2,2-テトラクロロエタン【草】	>99.9%	※研究途上	広ダ
72	テトラクロロエチレン	>99%	神経障害、ガン	広ダ
73	トルエン	>99%	神経・肝臓・腎臓障害	
74	トクサフェン【虫】	>99.9%	内分泌攪乱、ガン	環境ホ 広ダ
75	トクソプラズマ【生】	99.9%	下痢、発熱、胃腸病	
76	2,4,5-TP【草】	99%	神経・肝臓・腎臓障害、ガン	環境ホ
77	1,2,4-トリクロロベンゼン	>99%	肝臓・腎臓障害	広ダ
78	1,1,1-トリクロロエタン	95%	神経・肝臓障害	
79	1,1,2-トリクロロエタン	>99%	腎臓・肝臓・神経障害	
80	トリクロロエチレン	>99%	ガン	
81	トリハロメタン	>99.7%	ガン、神経・筋肉障害	総トリ
82	総トリハロメタン	>99.8%	ガン、神経・筋肉障害	総トリ
83	濁度	99.7%	消毒阻害要因、消毒副成物	無機
84	不定形トリクロロベンゼン	>99%	肝臓・腎臓障害	
85	ビニールベンゼン	>99%	神経・腎臓・肝臓障害	環境ホ
86	総キシレン	>99%	神経・肝臓・肺・粘膜障害	

感覚的な因子 (NSF 規格No. 42)

87	味、臭い及び、残留塩素	>97.5%	残留塩素：ガン	消毒副生物
88	クロラミン	>96.9%	酸化作用	消毒副生物
89	微粒子	0.5μ	(クラス1に合格)	

■ 表中の略記号 【草】：除草剤、【虫】：殺虫剤、【生】：原生動物

総トリ：総トリハロメタンの一つ、環境ホ：日本環境庁報告の環境ホルモンの一つ

広ダ：広義に見たダイオキシン系、ダイ：ダイオキシン類、無機：無機物、重金：重金属

■ 除去率は、カートリッジ交換時期の2倍の期間における認定除去率。